

平成27年度予算の概要

【骨格予算】



平成27年3月
北海道千歳市

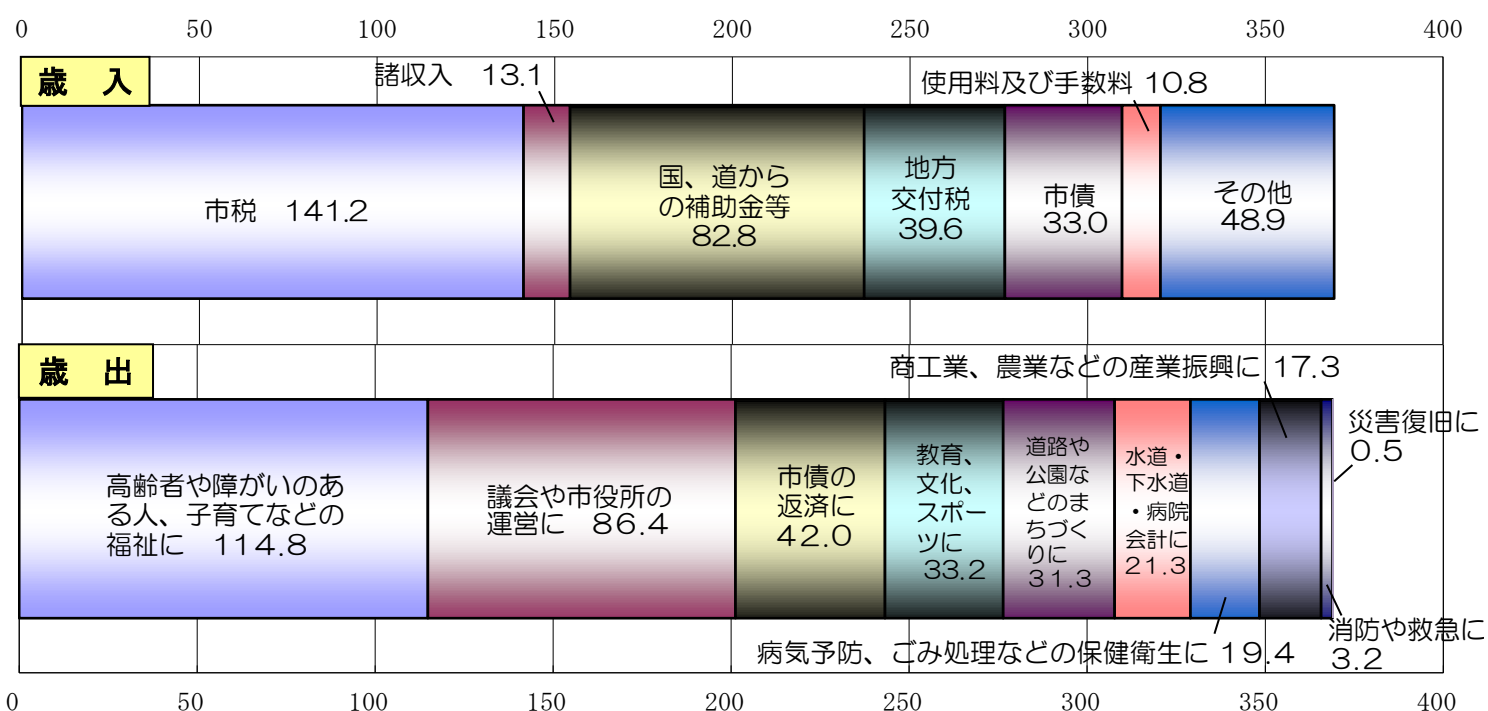
平成27年度各会計予算の状況

全会計 675億6千万円

一般会計 369億4千万円

税金などの収入で市民生活や教育、福祉などの基本的な事業を行う会計です。

(単位：億円)



特別会計 157億5千万円

料金や保険料などの収入で特定の事業を行う場合などに設ける会計です。

国民健康保険	99億2,643万円
土地取得事業	2,483万円
公設地方卸売市場事業	4,002万円
霊園事業	9,816万円
介護保険	47億827万円
後期高齢者医療	9億5,213万円

公営企業会計 148億7千万円

民間企業と同じように、独立採算性を原則としている会計です。

水道事業	32億2,007万円
下水道事業	49億848万円
病院事業	67億4,479万円



千歳市の一般会計予算を目的別に、 市民1人あたりの金額に置き換えると…？

1人あたり **38万7千円**

(平成27年度一般会計予算を、平成27年3月1日現在の人口95,501人で割ったもの。)

高齢者や障がいのある人、子育てなどの福祉のために
12万円



議会や市役所の運営のために
9万1千円



市債(借金)の返済のために
4万4千円



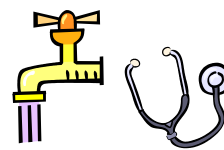
教育、文化、スポーツの振興のために
3万5千円



道路や公園などのまちづくりのために
3万3千円



水道・下水道、病院会計に
2万2千円



病気予防、ごみ処理などの保健衛生のために
2万円



商工業、農業などの産業振興のために
1万8千円



消防や救急のために
3千円

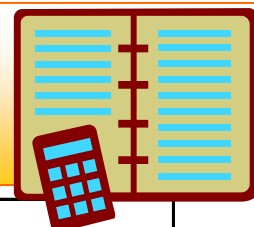


災害によって生じた被害の復旧のために
1千円



※千歳市の借金残高(約395億円)を市民1人あたりに換算すると41万4千円になります。

市民1人あたりの金額を性質別に、 家計簿に置き換えると…？



千歳市の家計簿

支出		収入	
食費 (人件費)	6万8千円	給料 (市税)	14万8千円
光熱水費・電話代 (物件費)	5万7千円	諸手当 (国・道支出金)	8万7千円
医療費 (扶助費)	7万8千円	家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	7万7千円
仕送り・小遣い (補助費等、投資・出資、繰出金、貸付金)	8万4千円	同居家族からの収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	1万3千円
貯金の積み立て (積立金)	3千円	財産の運用による収入 (財産収入)	5千円
家の改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	5万3千円	貯金の活用 (繰入金、繰越金)	8千円
ローンの返済(元利) (公債費)	4万4千円	親類からの返済金など (諸収入)	1万4千円
		新たなローン借入 (市債)	3万5千円
	38万7千円		38万7千円

平成27年度の主な実施事業

1. あったかみのある地域福祉のまち

生活困窮者自立支援事業費	1,362万4千円（新規）	巡回支援事業費	455万8千円（新規）
<p>「生活困窮者自立支援法」の施行に伴い、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者の就労その他自立に向けた相談支援を行います。また、住居確保給付金の支給、生活困窮家庭の子どもに対する学習の場の提供と支援及び保護者への進学助言を併せて実施します。</p>		<p>巡回支援専門員を2名配置し、週3回程度認定こども園、保育所、幼稚園等を巡回し、施設のスタッフや保護者に対し、障がいの早期発見・早期対応のための助言等の支援を行います。また、潜在的な発達障がいを早期に発見し、訪問療育支援や発達相談、通所支援等の利用に繋がります。</p>	
子育てコンシェルジュ事業費	69万5千円（新規）	認定こども園事業費	1億267万6千円
<p>ちとせっこセンターとげんきっこセンターに子育てコンシェルジュ（相談員）を2名ずつ配置し、保護者等の子育てに関するニーズに対応し、情報の集約と提供、相談、子育て施設の利用支援等を行います。また、転入して間もない家庭を中心に、定期的に家庭訪問を行い、子育てに関する情報提供や相談に応じる「ホームスタート」を併せて実施します。</p>		<p>2カ所の公立保育所を幼保連携型認定こども園に移行し、就学前の子どもに関する教育、保育を総合的に提供します。</p>	
		私立特定教育・保育施設運営支援事業費	7億2,165万8千円
		<p>私立認可保育所から4カ所、私立幼稚園から1カ所が私立認定こども園に移行します。また、2カ所の私立保育所等において、一時預かりを実施します。</p>	
子育て支援センター休日開館事業費	110万3千円（新規）	休日夜間急病センター整備事業費	2,935万8千円（新規）
<p>平日働いている親のために、ちとせっこセンターとげんきっこセンターのそれぞれで月1日ずつ休日に開館します。</p>		<p>初期救急医療を必要とする市民が、夜間及び休日に安心して診療を受けられるよう、休日夜間急病センターを設置します。平成27年度は調査・設計等を行います。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・コミュニティセンター施設整備事業費
- ・町内会等備品整備事業費
- ・養護老人ホーム千歳千寿園改築整備事業費
- ・地域子育て支援センター運営事業費
- ・子育て世帯臨時特例給付金給付事業費
- ・はばたく健康ちとせ21新計画策定業務経費 など
- ・町内会館整備事業費
- ・町内会育成事業費
- ・障がい者就労支援事業費
- ・予防接種推進事業費
- ・高齢者・障害者福祉サービス利用券助成事業費
- ・町内会館改修事業費
- ・臨時福祉給付金給付事業費
- ・自立支援給付事業費
- ・医療体制整備事業費

2. 人と地球にやさしい環境のまち

一般廃棄物処理基本計画等改定業務経費	531万4千円（新規）	防犯灯LED化促進事業費	7,243万8千円
平成23年3月に策定した千歳市一般廃棄物処理基本計画について、策定後5年を迎えることから、施設計画の変更やごみ量の変動、今後の進捗などを考慮した改定を行います。		町内会等が設置する防犯灯について、長寿命かつエネルギー効率に優れたLED灯の普及・促進を図るため、LED化更新費の一部を補助することにより、省エネ・節電対策の推進や更なる防犯対策の充実を図ります。	
エコチャレンジ補助事業費	251万円	道央廃棄物処理組合経費	1,582万8千円
太陽光発電システム等の新エネルギー機器の導入について、個人住宅向けの支援を平成26年度から引き続き実施します。		道央廃棄物処理組合の業務を円滑に進めるため、運営費用の一部を負担します。平成27年度は、焼却処理場建設候補用地及び焼却方式の選定を実施します。	

（他の主な実施事業）

- ・自然環境保全事業費
- ・第2埋立処分地嵩上げ事業費
- ・資源回収事業費
- ・環境センター管理運営業務経費
- ・エコアクション推進事業費
- ・有害ごみ処理経費 など

3. 安全で安心して暮らせるまち

プレミアムリフォーム券発行事業費	1,017万8千円	防災ハンドブック作成事業費	522万8千円（新規）
市民の住宅環境整備の促進や市内建設業の活性化を図るため、住宅のリフォーム工事などの支払いに利用できる、10%のプレミアム付きリフォーム券を発行します。		平成24年度に作成以後、災害対策基本法の改正、特別警報の運用開始、避難所等についての整理など、記載内容に大幅な変更が生じていることから、新たに60,000部を作成し全戸に配布します。	
災害応急対策用品等整備事業費	872万6千円	小中学校非構造部材耐震化事業費	1億3,352万9千円
千歳市災害応急対策用品整備計画に基づき、長期保存非常食や紙おむつ、毛布等を備蓄するほか、防災備品の整備を行います。		近年の大規模な地震では、天井材の落下など、いわゆる「非構造部材」の被害が発生していることから、児童・生徒の安全及び災害時の避難所の役割を確保するため、非構造部材の耐震化を図ります。	

（他の主な実施事業）

- ・自主防災組織育成事業費
- ・総合福祉センター改修事業費
- ・消防車両等更新事業費
- ・消防総合庁舎改修事業費
- ・公営住宅建替事業費（みどり団地）
- ・除雪車両等購入事業費
- ・北千歳駐屯地急傾斜地対策受託事業費
- ・共同受信区域アンテナ設置助成事業費 など

4. 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

学校活動支援事業費	6,306万6千円	千歳青少年教育財団支援事業費	4,184万3千円（新規）
習熟度別学習などきめ細やかな指導を行い基礎学力の向上を図るため、現在、市内小学校に10名配置している学習支援員を14名に増員するとともに報酬額を増額し人材の確保を図ります。		市内小中学生を対象とし、社会教育施設の利用促進、学習機会の拡大、休日等の居場所づくりの創出などを図るため、「サケのふるさと千歳水族館」のリニューアルオープンに合わせて実施する市内小中学生の入館料無料化事業に係る減収相当額を助成します。	
小学校ICT機器等整備事業費	2,539万円	フッ化物洗口事業費	214万6千円（新規）
全小学校の普通学級全学級及び特別支援学級の一部に、デジタル教科書を整備します。		児童生徒のむし歯予防を図るため、平成27年度から全小学校において、フッ化物洗口を実施します。	

（他の主な実施事業）

- ・千歳サケのふるさと館リニューアル事業費
- ・小中学校大規模改修事業費
- ・スクールバス運行経費
- ・交流推進事業費
- ・国際交流事業費
- ・青少年健全育成事業費
- ・青葉公園サッカー場改修事業費
- ・国指定史跡整備事業費（キウス周提墓群） など

5. 活力ある産業拠点のまち

農地中間管理機構集積支援事業費	23万円（新規）	観光PR事業費	1,177万円
農地中間管理機構関連法の施行に伴い、農業委員会が行う農地集積や耕作放棄地解消のための事務に係る経費を計上します。		海外観光客の増加や北海道ブランドの高まりなどのニーズの変化に対応するため、平成23年度に作成した観光ガイドを全面改訂します。平成27年度は日本語、英語版を作成します。	
商業振興プラン策定業務経費	457万円（新規）	道の駅リニューアル事業費	2億4,750万2千円
現在の「商業振興プラン」が平成27年度までで終了することから、次期プランを策定します。		道の駅利用者の利便性と満足度を高めるため、特産品などの物販・案内機能の強化や周辺の河川風景を生かした施設等を整備し、市街地地区の更なる魅力づくりを推進します。平成27年度は、外構工事、電気自動車充電器設置、駐車場出入口や地域振興施設の整備などを行います。	
観光スポーツ連携事業費	339万円		
2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、スポーツ合宿・大会等の誘致を推進するため、市内での合宿実態調査、スポーツ合宿や大会誘致に関するニーズ調査を実施します。			

（他の主な実施事業）

- ・分譲地販売・管理事業費
- ・経営安定化対策事業費
- ・多面的機能支払事業費
- ・企業誘致プロモーション事業費
- ・企業誘致推進事業費
- ・商業等活性化事業費
- ・農業振興計画中間見直し業務経費
- ・観光振興計画改定業務経費
- ・イベント支援事業費 など

6. 都市機能が充実したまち

公共施設等総合管理計画策定事業費	427万2千円（新規）	道路ストック整備事業費	4,505万8千円
<p>公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点で計画的な管理を行うことにより、財政負担の軽減と平準化を図るとともに、公共施設の最適な配置を行うことを目的に策定します。平成27年度及び28年度の2か年事業として実施します。</p>		<p>高度経済成長期以降、集中的に整備された道路ストック（道路舗装、橋梁、街路灯等）について総点検を実施し、計画的に修繕更新等を行うことにより、安全な道路交通環境を維持します。</p>	
千歳市交通戦略プラン策定事業費	822万7千円	橋梁長寿命化対策事業費	1億3,120万円
<p>平成27年度は、千歳市交通戦略プランの策定、千歳市地域公共交通再編実施計画の策定、策定に当たっての地域への説明会、計画のPR等を行います。</p>		<p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁長寿命化対策工事を実施します。平成27年度は、仲の橋、向陽橋、平和橋及び朝雲橋の修繕工事を実施するほか、3橋の実設計計を行います。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・都市計画決定業務経費
- ・バス路線確保対策補助事業費
- ・市内公園整備事業費
- ・景観形成推進事業費
- ・市道整備事業費
- ・緑化推進事業費 など
- ・新千歳空港整備事業費
- ・道路舗装補修事業費

7. 市民協働による自主自立の行政経営

ふるさと納税推進事業費	75万5千円（新規）	社会保障・税番号制度対応事業費	2億323万7千円
<p>1回1万円以上のふるさと納税を行った寄附者に対し、本市のPRを図るため、5千円相当の農産物又は市内立地企業の製造食品等の詰合せのいずれかを贈呈します。</p>		<p>社会保障・税番号制度に対応するため、住民基本台帳システムなどの改修等を行い、行政手続きにおける市民負担の軽減、利便性の向上及び行政運営の効率化を図ります。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・ひと・まちづくり助成事業費
- ・自衛隊体制強化要望活動事業費
- ・第6期総合計画推進業務経費
- ・市民協働推進事業費
- ・北海道知事及び北海道議会議員選挙執行経費
- ・千歳市長選挙及び千歳市議会議員補欠選挙執行経費 など
- ・自衛隊連絡調整業務経費

千歳市の財政に関するお問い合わせは・・・

千歳市総務部財政課

Tel : 0123-24-0541 (直通)

Mail : zaisei@city.chitose.hokkaido.jp